

# SC NEW

SOLID SINGLEBOBIN GUITAR

オリジナリティは名手の必須条件。  
そして名手は銘器の出現を待っていた。  
シングルボビン派へ、いまニュー「SC」



## ニューシェイプヘッド

パーフェクトチューニングこそプロサウンドの秘訣。ハンバッキングモデルと共通のヘッド&ダイキヤストトルク調整付糸巻のコンビにより、1-6弦まで均一なテンションが得られ、アームング時のチューニングも安定している。白樺具のフラーインレイもじつに鮮やか。



## バック&トップカットボディ

薄、ボディも軽くスリムにフィットするボディカッティングはハイテクニクを活かすためのアイデア。SFモデルに通ずるボディシェイプは、ソリッドギターが利達すべきひとつの理想の姿。



## ワンピース構造

ボディとネックを一体で削り出し、弦振動は切れ目のない理想のループを描いてロスなボディーを伝わり、シングルボビンモデルでは異例なロングサスティンを約束。(SC-7000)



## オールドシェイプネック

オールドシェイプのスリムネックをピッチをつけて完全セットネック。ハイポジションでのプレイも難な



## シングルボビン「C」

オールディなブリアントサウンドを弾きだすポールピースタイプの新設計。



## バイサウンドシステム Mk II

トーンノブを押すだけでシングルボビンピックアップからハンバッキングなみのハイパワーサウンドが飛び出す、驚異のファンクション。



## ロータリー式5ポジションSW

3つのピックアップのそれぞれの中間位置にびたっとセットでき、ハーフトーンも自在に弾き出せる。



こなせて、ソリッドシングルボビンの弾きやすさはより高まった。スムーズな演奏性の秘密がここに。ネック素材にはメープルを採用。



SC-7000

## SC-7000

サウンド・ルックス・演奏性がこれほどまでハイクラスなシングルボビンが、あつたのだろうか。音創りの機能も満載。ワンピース構造をもつ最高峰のSC。  
マイクシングルボビンC-II×3  
コントロール=ボリューム×1、トーン(ブッシュロックスW付)×1、5ポジションSW×1  
胴=アルダー・メイプル・マホガニー  
橋=メープル・キャスター  
指板=ローズウッド  
駒=メープル  
指=ローズウッド・ネック  
弦=スーペーライトゲージ  
弦=スーペーライトゲージ/重量=3.6kg  
¥120,000



(YN) エレクトロ



(TS) トレッド

## オリジナルトレッド

ヤマハ独自の最新設計。2点支持方式、ダブルナット方式などによりチューニングが狂いにくく、卓越した性能を発揮。繊細なピッチコントロールからトリッキーなアームブレイまで自在に弾き分けられる。



(BS) ブラック



(BS) ブラック



(YN) エレクトロ

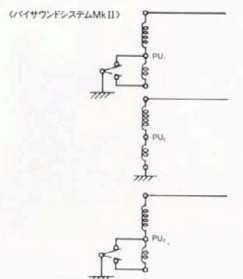


(YN) エレクトロ

## Singlebobin Column

### I バイサウンドシステムMkII

ヤマハ独自の驚異のバイサウンドシステムがついに第2世代を生み出した。それSCシリーズ全機種に採用のバイサウンドシステムMkIIだ。トーンノブに組み込まれたブッシュロックスW操作ひとつで、ブリアントなシングルボビンサウンドとハンバッキングなみのハイパワーサウンドを自由に切り換え、5点式ロータリーSWを併用すれば、驚くほどのサウンドバリエーションが得られる。これを可能にしたのは、ハイパワーサウンド用に6巻の増の2倍のコイルを内蔵した特殊設計のCシリーズピックアップ。ハンバッキング系のバイサウンドシステムがピックアップ回路のマイナス活用なら、MkIIはプラス活用ということができるかもしれない。



### II ワンピース構造

ソリッドハンバッカーSG-2000をルーツとするヤマハワンピース構造は、シングルボビンモデルのSC-7000にも導入されている。アルダー、メープル、マホガニーという性質の異なる素材が音源としてお互いの長所を引き出し合うだけでなく、ボディとネックが一体で削り出されているからブリッジで受けた弦のエネルギーはロスなくボディへ、シングルボビンモデルでは破格といえるナチュラルなロングサスティンが得られる。ヒール部が低く、フレットがフィンISHされている。ハイボビンの演奏性もトーンだ。ネック部が反りやむじれに強い点も見逃せない。ソリッドベースBB-2000・1200、SB-1200同様、ふた筋のマホガニーラインの印象も鮮明だ。



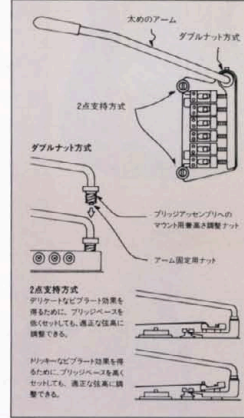
Photo: BB 2000

### III エグジティブのネック断面

ヤマハのシングルボビンモデルのネック断面も、1弦側のR(凹)を6弦側のRより小さくした独特のエグジティブを採用している。これは、楽器に不可欠な弾き応えとスムーズなフィット感を両立させるためのアイデアだ。ボディとのバランス、指板の素材などによりシリーズごと機種ごと微妙なアレンジをしているから実際に弾いて確かめよう。ネックの仕上げの程度で演奏性は決定的に左右されることを知りつつ、ヤマハならではの設計だ。メープルネックのソリッドなボディとアタッキーな音を存分にドライブさせて欲しい。

### IV ヤマハオリジナルトレッド

ベアネックなレベルからトータルに追求されたSCシリーズ全機種に採用のトレッドユニットについて説明しよう。  
●ブリッジアセンブリの2点支持方式：スタッドボルトによる2点支持方式だからアームング時の支点移動が発生せず音程も狂いにくい。さらに、繊細なピッチコントロールからトリッキーなピッチコントロールまで調整するだけで目標の効果がたやすく得られ、弦高もつねに適正にセットできる。  
●アーム取付部のダブルナット方式：アームの高さを調整できるだけでなく、締めすぎでアームをねじ切ってしまうなんていう不慮の事故も起こらない。  
●やや太めのアーム径：アームのたわみがなくすばらしくレスポンスがよい。しかも折れにくい。  
●均一なテンションが得られるヘッド：弦押しのない、1-6弦まで均一なテンションが得られるヘッドを採用。アームング時の音程の安定度をグンと高めている。しかも糸巻は、ヤマハダイキャストトルク調整つきを採用。



### V シングルボビン系専用の2.0mm幅フレット

シングルボビン系モデルのフレットはハンバッキング系よりやや細く、2.0mm幅のタイプを採用している。これはシングルボビンサウンド特有のクリアさをいっそうシャープにするための配慮だ。その弾きやすさをエボニー指板、ローズ指板、メープル指板のそれぞれで実感しよう。

### VI ピックアップ特性：C vs J

Jマイク(S)の鋭角的な音創りに対し、Cマイクのゆるやかなカーブにはダイナミックレンジを重視した音創りがあらわれている。

